

# Jamfを選ぶ理由

iPhone / iPadの管理ツールは  
すべて一緒だと思いませんか？  
Jamfはここが違うんです！

iPhone /  
iPad 編

iPhone / iPadを組織で管理するためのツール(MDMソリューション)はApple社が定めるMDMフレームワークに準拠しています。そのため、どのような製品を使っても、端末に対して配付する構成プロファイルや制限項目に大きな差はありません。しかし、だからといって「どれも同じ」ではありません。Apple製品に特化したMDMである「Jamf Pro」は他のMDMと比較してさまざまな点で優れており、実際の管理業務に大きな違いをもたらします。とある企業の情報システム部の「困った!」を例に、Jamf Proの魅力をお伝えします。



現在お使いのMDMで抱えているさまざまな悩みは、  
Jamf Proを使えばすぐに解決できます！



MDMの中には、デバイス属性(デバイスの情報等)とユーザ属性(ユーザが所属している部署等)を掛け合わせた条件式でグルーピングできないものがあります。

解決!

Jamf Proなら…

「スマートグループ」機能を使うことで、膨大な数のデバイス属性や Azure AD で定義したユーザ属性を合わせて条件式を組み込み、グルーピングを行えます。



デバイス属性とユーザ属性によって柔軟にグルーピングできます



MDMの中には、iPhoneやiPadのインベントリを収集する際に限られた構成情報しか取得できないものがあります。

### 解決! Jamf Proなら…

デバイス属性とユーザ属性の情報をあわせて120種類以上のインベントリ情報を収集できます。端末のキャリアや電話番号、ストレージ、バッテリー残量のほか、「最後にMDMと通信した日」「接続先IP」「インストールされている構成プロファイル」などのさまざまな情報を元にインベントリ情報を収集できるので、台帳管理やスマートグループによる動的グループ運用が可能です。

**120種類以上のインベントリ情報を収集できます**

モバイルデバイスのインベントリ一覧



一般的なMDMではインベントリ情報を収集する際にあらかじめ用意された項目からしか情報を取得できません。

### 解決! Jamf Proなら…

豊富なインベントリ項目に基づいてデバイスを収集できるだけでなく、「拡張属性」という機能によって追加のインベントリ情報を収集できます。任意の入力欄やプルダウンメニューなどを拡張属性として自由に作成することができます。もちろん、CSV形式でデバイス一括での反映にも対応しています。また、こうした作成した拡張属性をスマートグループの条件式に利用することも可能です。

**「拡張属性」を使って自由にインベントリ情報を収集できます**



MDMの中には、デバイスのインベントリ情報を収集する頻度が1週間に1回などで、いつ行われるかタイミングが不明なものがあります。また、手動でのインベントリ情報の更新機能が実装されていないものもあります。

### 解決! Jamf Proなら…

インベントリ情報を1日1回収集し、かつ任意のタイミングで管理者が手動で更新できます。iOSが最新版かどうかや特定のアプリがインストールされているか、端末が盗難・紛失にあっていないかなど、デバイスの状態を即座に確認できるので、セキュリティを担保することが可能です。また、スマートグループを利用することで、Jamf Proと最後に通信してから一定日数経過したデバイスが発生した場合に管理者に自動通知できます。

**1日1回の頻度で情報を自動更新できます。1台、もしくはデバイスグループごとに手動で情報の更新が可能です**



MDMの中には、構成プロファイルを6時間に1度などの間隔で同期し、手動での同期にも対応していないものがあります。

解決!

Jamf Proなら…

管理コンソールで設定した内容がすぐに反映されないと、デバイスが最新状態になっているかを確認できません。特に多数のデバイスが全国各地にあったり、オフラインのデバイスがあったりするような大規模運用の場合は、構成プロファイルが配信されていないとセキュリティ的なトラブルを抱えます。Jamf Pro は構成プロファイルをオンラインのデバイスに対して速やかに配信します。万が一オフラインで配信できなかったデバイスについても、次回オンライン時に自動で配信します。管理者は、配信が完了していないデバイスの一覧を Smart Device Group により把握することも可能です。



MDMの中には、構成プロファイルやアプリなどを配信した際に正常に完了したかがわからないものがあります。また、送信を繰り返したあと約72時間後に配信することを止めてしまう仕様になっているものもあります。

解決!

Jamf Proなら…

構成プロファイルやアプリなどのコンテンツの送信状況や履歴を確認できます。また、スマートグループを使ってこうしたコンテンツが未配信のデバイスグループを作成して対処できますので、どの端末に構成プロファイルやアプリなどが正しく配信されているかをきちんと管理できます。万が一、端末がオフラインでコンテンツが配信されていない場合も、Jamf Pro は一定時間で諦めることなく送信し続けたり、サーバ負荷を下げるために一部の端末だけ適用し、あとから別のタイミングで分けて送信したりすることが可能です。

1台ごとやグループなどの配布対象に対する構成プロファイルやアプリの配布、コマンドの到達状況を可視化できます

Management History			
COMMAND	STATUS	DATE/TIME ISSUED	DATE/TIME OF LAST PUSH
Install ConfigProfile	Pending	Less than 5 minute ago	Less than a minute ago



MDMの中には、基本的にユーザまたはユーザに紐付いたグループ単位でデバイスの運用管理を行うため、構成プロファイルやアプリの配信先 (Scope) として、特定の場所にある「場所紐付けのデバイス」を指定するのに難があり、柔軟性に欠けるものがあります。

解決!

Jamf Proなら…

デバイス中心の設計となっており、デバイスをどのユーザが使うかどうかを組織の認証基盤 (クラウド IdP など) と紐付けたり、CSV でインポートしたりして設定します。そのため、特定の場所に設置する「場所紐付けのデバイス」へも、従業員 1人 1台貸与する「ユーザ紐付けのデバイス」へも配信先 (Scope) として指定することが可能です。

アプリの配信先としてデバイスもユーザも指定できます

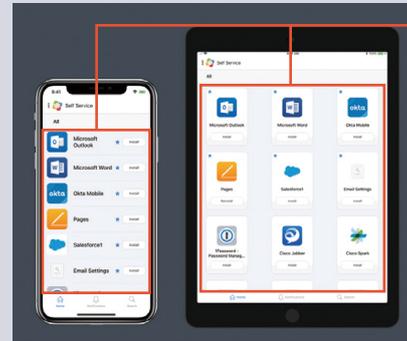


MDMによっては社内のみアプリストアを構築することができますが、「ユーザに紐付いた」運用管理を行うMDMの中には、組織の認証基盤のユーザグループ単位でしか配信できないものもあり、「場所紐付けのデバイス」に対しての配信に難を抱えます。

解決!

Jamf Proなら…

組織の認証基盤のユーザグループ単位での配信のみならず、デバイスグループ単位での配信も可能となっており、ユーザに紐付かないデバイスでも社内のアプリストア (Self Service) からアプリを配信可能です。



企業独自のアプリストアを作成してアプリを配信できます



MDMによってはこうした従業員の配属先切り替えの際に、構成プロファイルなどのテンプレートを切り替えると、都度アプリの再インストールコマンドが実行され、アプリが初期化されてしまうという問題が起こることがあります。

解決!

Jamf Proなら…

配属先の変更によって生じる差分のみアプリのインストールやアンインストール、構成プロファイルの入れ替えなどが行えますので、都度アプリを再インストールする必要はありません。このため、円滑かつ確実な年次更新作業を実現できます。

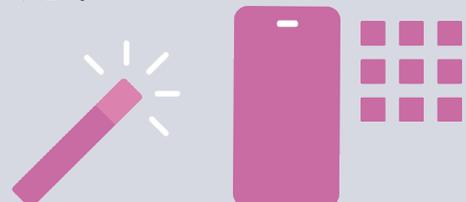


デバイスやユーザ、グループなどの配信先からアプリをアンインストールするとき、MDMによっては対象のグループをアンインストール先グループに入れたうえで、かつインストール先グループから外す必要があるなど、二度手間が生じる場合があります。

解決!

Jamf Proなら…

対象のグループ(またはユーザやデバイス)を配信先(Scope)から外すだけでアプリのアンインストールを素早く行えます。アプリのインストールに関しても、グループ単位で行えます。また、MDMによっては例外的に特定のデバイスだけからアプリをアンインストールしたいときも、グループ単位でのアンインストールしかできないのでタグなどを用いて個々のデバイスへ対応する必要がありますが、Jamf Pro ならその必要はありません。





iPhoneやiPad以外のデバイスにも対応したMDMの多くは、インターフェイスやメニューがiPhoneやiPad向けに作られていません。また、目的の操作を行うためのメニュー名がわかりにくかったり、たどり着くまでの階層構造が複雑なものがあったりします。

**解決!** Jamf Proなら...

Apple 専用のMDMとして開発されているため、インターフェイスやメニューはiPhoneやiPadに併せて作られています。そのため、直感的に目的の操作を効率的に行うことができます。

ダッシュボードでは、頻繁に確認する必要のある項目状況をわかりやすくグラフィカル表示します。



お使いのMDMが最新OSに即座に対応することは管理上とても重要ですが、MDMによっては新しいOSへの対応だけを謳い、新OSで搭載された新機能に関するメニューなどのUIへの実装に時間がかかるものがあります。

**解決!** Jamf Proなら...

Appleは毎年のようにiPhone/iPad向けの新OSとデバイス管理に関する新機能を発表しますが、JamfはAppleの新OSのリリース同日に最新OSをサポートする「同日サポート」を2012年以降の10年間連続で実現し、最新OSもしっかりと管理することができます。それだけではなく、Jamf Proはデバイス管理の利便性を高めるために新たに追加された機能もいち早く実装しています(例: 共有iPadなど)。Apple製品に特化したJamf Proだからこそ、Appleの新機能もいち早くお届けできるのです。

## Apple デバイス管理のデファクトスタンダード

Jamf Proは、Mac、iPhone、iPad、Apple TVをシームレスに管理できる業界唯一のApple専用MDMソリューションです。職場や教室でAppleデバイスを利用するエンドユーザの生産性と創造性を保ちながら、IT管理者はデバイス管理業務を大きく自動化することができます。現在、世界中の47,000以上の組織が導入し、2,000万台以上のApple製品がJamf Proで管理されています。

**無料試用版をお試しください**

Jamf Proの無料試用版は、QRコードを読み取り、弊社WEBサイトから必要事項を記入するだけですぐにご利用いただけます。